

## 平成 24 年 1 月から平成 28 年 7 月に子宮内膜組織診では悪性ではなく、 後で子宮体部悪性腫瘍と診断された患者さんへ

当研究の対象者として該当される方にお知らせ致します。対象とされることを希望されない場合や疑問点などがありましたら、お手数ですが下記連絡先までご連絡ください。

### 【研究タイトル】

子宮内膜組織診\*1で悪性所見を認めなかった子宮体部悪性腫瘍\*2の臨床病理学的検討

\*1：子宮内膜組織診とは、子宮体がん検診で陽性となった患者さんに、更に詳しく子宮の内膜の細胞を調べる検査のことです。

\*2：子宮体部悪性腫瘍とは、子宮体部に発生したがんのことです。

### 【研究背景・目的】

この研究は、子宮の内膜の組織検査で悪性の所見を認めなかったにもかかわらず、子宮の体部に悪性の腫瘍を認めた患者さんについて検討しました。

### 【研究期間】

この研究期間は、平成 29 年 3 月 22 日から平成 29 年 4 月 13 日までです。

### 【研究対象】

- ・対象者数 : 359 名
- ・対象期間 : 平成 24 年 1 月 1 日から平成 28 年 7 月 31 日まで
- ・対象者 : 飯塚病院で子宮体部悪性腫瘍の検索目的で子宮内膜組織診を受けた患者さん
- ・取得情報 : 患者さんのカルテにある経過、手術時の状態、血液検査の結果、病理組織診の結果

### 【研究方法】

上記情報を過去に遡り収集を行い、対象例の最終病理診断、その診断方法、臨床経過を子宮内膜組織診で悪性であった症例と比較評価しました。

## 【研究対象となる患者さんへの利益・不利益】

利益：本研究により対象者が直接受けることができる利益はありません。しかし、本研究の目的とするところが明らかになると、将来、子宮がん患者さんの病態の把握や早期発見、合併症予防等、社会的な利益につながるものと考えられ、より効果的な治療を開始できる可能性があります。

不利益：本研究は通常の診療により得られた情報のみを用いる研究であり、収集したデータに関しては、匿名化を行って使用しますので、患者さんご本人への直接的な不利益が生じることはありません。

## 【利益相反について】

本研究は飯塚病院産婦人科の自主研究として実施するものであり、企業やその他、外部からの資金提供はありません。しかしながら、研究に参加する医師のなかには、この研究以外において外部から研究資金、講演会講師料、旅費等を受けている者もいます。この研究は「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針」に基づき飯塚病院倫理委員会の承認を受けて適正に行われます。資金の提供があったとしてもそれが研究の結果に影響を及ぼすことはありません。研究資金が必要な場合は、飯塚病院の研究費、もしくは研究者らの費用で賄われます。

## 【個人情報の取扱い】

研究の際の個人情報の取り扱いは、研究責任者により厳重に管理され、外部への研究発表の際には患者さん個人を特定する情報は含まないようにして行います。

研究の対象となることを望まない旨の申し出があった場合には、ただちに研究対象から除外します。なお、匿名化（データの識別のために個人を特定できる情報を番号・記号等に置き換えること）を行った後の患者さんの情報については、研究から除外できない場合もありますのでご了承下さい。

## 【研究組織】

研究責任者：飯塚病院 産婦人科 辻岡寛

研究分担者：飯塚病院 産婦人科 近藤晴彦、安藤美穂、今岡咲子、遠山篤史、稲村真世、山本広子、中村寿美得、藤庸子、深見達弥、後藤麻木、辻岡寛、江口冬樹

## 【問い合わせ先】

〒820-8505

福岡県飯塚市芳雄町 3-83

飯塚病院 産婦人科 辻岡寛

TEL：0948-22-3800（代表）